

(相模原市)

日時	平成23年11月29日14:30~17:15	場所	相模原市役所1階会議室
出席者	相模原市	相模原市企画市民局市民部市民協働推進課 担当課長 若林氏 他2名	
	八尾市	八尾市役所市民ふれあい課 目黒・島田	

1. 自治体の基礎データ(平成23年4月1日現在)

人口：717,684人
世帯数：304,177世帯
面積：328.83平方キロメートル
自治会・町内会加入率：59.1%
地区自治会連合会数：22
自治会・町内会数：592

(参考：八尾市)

人口：271,593人
世帯数：119,272世帯
面積：41.71平方キロメートル
自治会・町内会加入率：72.3%
地区自治振興委員会数：28
自治会・町内会数：754

2. 相模原市の特色

- ・平成18年に3市町が合併(相模原市・津久井町・相模湖町)平成19年には相模原市と2町が合併(相模原市・城山町・藤野町)平成22年政令指定都市に移行した。
- ・人口は微増傾向(過去3年で毎年平均約3,000人増)
- ・人口構成は15~64歳がやや多い
(15歳未満：約13% 15~64歳：約67% 65歳以上：約20%)
(八尾市 15歳未満：約15% 15~64歳：約62% 65歳以上：約23%)
国勢調査より
- ・自治会連合会は旧相模原市域の18地区と旧城山町、旧津久井町、旧相模湖町、旧藤野町の4地区の22地区で構成されており、旧相模原市域は住宅街や企業が多く、他の地域は自然や観光スポットが多い。
- ・大学があり学生が多く、単身者も多い。

3. 町会加入の取組

(1) 福利厚生制度について

- ・市自治会連合会が、業者と直接契約。
- ・140万円でパンフレットを印刷している。(原資は自治会連合会70万円+市予算70万円)それ以外に歳出はない。
- ・パンフレットを通じて、施設情報を会員に伝えているだけである。パンフレットには厚生施設利用カードがついている。
- ・さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト(相模原市内)というところは、会員向けに年3回大きな割引をやっており、うちわを作成してPRを行っている。
- ・相模原市内のボーリング場が非常に協力的で、会員に対しては市内6つのボーリング場で2ゲーム700円とし、そのうち東日本大震災への義援金として200円分を被災地に送るといった活動を行っている。

- ・福利厚生制度については、未加入者から問い合わせはあるが、加入率に影響あるかは明確になっていない。

(2) 加入促進キャンペーン

- ・毎年3月に加入促進キャンペーンを市と自治会連合会とで協力して行っている。
市内13箇所で啓発グッズやチラシなどを配布。
FMさがみ局で「自治会に入りませんか」の放送を流している。
市の広報にも特集を組んでいる。

(3) その他取り組み

- ・マンションや新築住宅への取り組み
マンションの管理会社や住宅開発者、建築主向けに専用のパンフレットを作り、「入居あつせんまたは販売の際は、自治会に積極的に加入されることを説明されるようお願いいたします。」というように、業者の協力を要請している。
- ・新任自治会長に対する研修会への取り組み
自治会長が交代した際、「何をやっていいかわからない」「これはどうするの」といった声が多く聞かれる。連合会では、自治会活動の手引きを渡すだけでなく、新任の自治会長に対して研修を行っている。一見、加入促進とは関係ないように見えるが、自治会長の活動内容を明らかにすることにより、「会長はすごく大変そうだから自治会をやめる」といった声を少なくできるようにしている。自治会長の活動は大変ではあるが、過大に「大変である」という印象が広がっているので、そういった不安を払拭できるよう研修会を行っている。

4. 取組の効果など

加入率の推移

年 度	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3
人 口	706,295	710,336	712,604	717,701
総世帯数	292,551	296,789	299,634	304,014
加入世帯数	180,282	180,204	180,211	179,737
加入率	61.6%	60.7%	60.2%	59.1%